

# 体験的

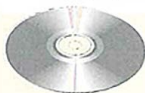


# イギリス英語

SIMPLE RULES FOR EFFECTIVE COMMUNICATION

# ルール101

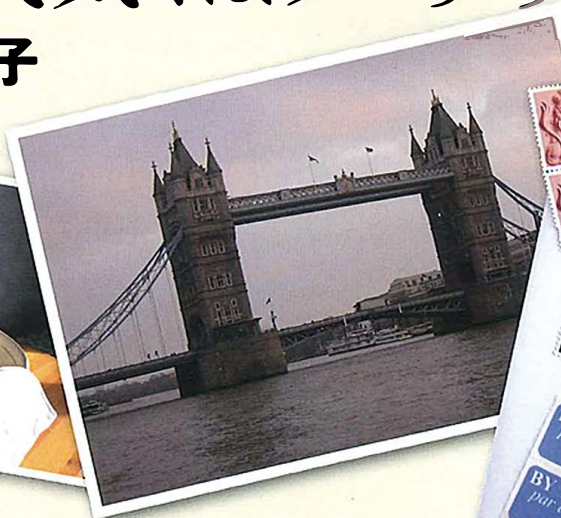
英国式気くばりのすすめ



CD付き

津野志摩子

Shimako Tsuno



イギリス英語ならではの

ワン・オー・ワン

社交ルール101(基本)の世界へようこそ。

気くばりの英語表現と気持ちが伝わる「カード」の書き方を紹介しました。

語研

## はじめに

「体験的イギリス英語ルール 101 (ワン・オー・ワン)」の世界ようこそ。これからあなたを日本にいながら、一飛びイギリスにお導きします。でも、その前にとっても簡単に基本的なことを心得ておきましょう。101 (ワン・オー・ワン) とは入門、基本という意味で、もうすでにおなじみの方も多いでしょう (また、英語の a hundred and one には「多数の」という意味もありますね)。

みなさんはそれぞれ違った目的で英語を学んでいるかもしれませんが、今や国際共通語となった英語を使って、世界の人たちとお話してみたいという願いが大きいと思います。ここには生活に密着したよいコミュニケーションをとるためのコツが満載されています。

本書は二章から成り立ち、Chapter 1 では相手への思いやりを示しながら、自分の意思表現をする「気くばりの英語表現」を紹介。それには難しい構文や言い回しを覚える前にもっと基本的なルール、つまり「魔法の言葉」とも言われている簡単な二語を覚えることがまず大切です。さて、その魔法の言葉とは何でしょう。

イギリスを始め英語圏諸国では、決して「沈黙は美德」ではありません。何かにつけて、自分の意思を表します。適宜に自分の考えや意見を述べるのはごく自然なことです。些細なことに関しても逐次感想をもらします。その一例として、ここでは日常よく使われている「褒め言葉」をたくさん紹介しました。文字どおりに考えると、大げさすぎて、ちょっと使うのがためらうような形容詞も日常生活の中ではごく普通に使われています。

Chapter 2 では「カード、手紙、Eメールの書き方」を紹介。郵便発祥の国イギリスでは今でも、切手を貼ってカードや手紙を出す楽しみを失っておりません。特にカードはバースデー・カードやクリスマス・カードだけではなく、感謝を表す「サンキュー・カード」「幸運祈願カード」「結婚祝いカード」「結婚記念日祝いカード」「お見舞いカード」「引越祝いカード」「出産祝いカード」「お悔やみカード」など、日常生活の出来事をカードに寄せて送る風習があります。例えば、ディナーに招かれたり、お世話になった人などにはすぐ「サンキュー・カード」を送って謝意を表します (送るタイミングも大切です。1か月後に送っても、送らないよりはいいのですが、ちょっと間延びがしてしまいます。国内でバースデー・カードを送る場合は、誕生日の朝に届くように送ります)。欧米の人たちと付き合う上でカードのやりとりは欠かせません。

そうです。よきコミュニケーションは相手を思いやる気持ちを持ちながら、話したり (Chapter 1 参照)、書いたり (Chapter 2 参照) して、深められて行くのです。

本書の本文はもとより、写真やイギリス人の話す美しい英語 (付属 CD) で、「読んで」「見て」「聴いて」、そして自らも「声に出して話してみよう」楽しい英語 101 の世界に入ってみましょう。本書がみなさんのお役に立つことができましたら、このうえなくうれしく思います。

2009年9月

津野志摩子

# 目次

はじめに ..... iii

## Chapter 1 気くばりの英語表現

**Dos and Don'ts** ..... 2

**Part 1 魔法の言葉 Two Magic Words — Thank you & Please** ..... 4

感謝の言葉 5 お願ひする 7

**Part 2 思いやりのあいさつ Casual greetings** ..... 10

初対面 11 ご機嫌伺い 11 週末の出来事を尋ねる 12 天気 13  
人を紹介する、自己紹介 14 久しぶりに会ったとき 15 別れ際 16  
ちょっと出かけるとき 17 ~によろしく 17 就寝時 18  
長期間会えなくなるとき 18 お礼、感謝の気持ち 19

**Part 3 ちっとも大げさでない褒め言葉 Praise — Not exaggerated!** ... 20

いただきもの、プレゼントを褒める 21 友だちとの待ち合わせなど 22  
容姿などを褒める 23 子どもを褒める 23 性格を褒める 24  
ペットを褒める 25 家を褒める 26 調度品や飾り物を褒める 27  
食べ物、飲み物を褒める 28

**Part 4 自分の意見・感情表現 Expressing yourself** ..... 30

思う、同意する、同情する 31 残念ながら～です、ごめんなさい、お気の毒です、申し訳ありません 32 ~したい、～の気がする、～をより好む 33  
決心する、決める 34 うれしい、楽しい 35 悲しみ、驚き、落胆 36  
怒り、いらだち、不本意 37 恥ずかしい、困った、気まずい 38

**Part 5 お願ひ・要望、電話応対**

**Asking favours/requests/telephone conversations** ..... 40

お願ひ 41 要望・許可 41 トイレを使わせてもらいたい場合 43  
電話応対 44

**Part 6 フランス語からの借用語 French words became English!** ..... 46

建物や部屋、家具に関して 47 家庭用品 48 食べ物 48  
人物に関して 50 その他 51

**Part 7 パーティで Various parties**.....54

【テーブル・マナー】

テーブル・マナー 55 喫煙 57 パブにて 57

【レストランにて】

席を予約する 58 注文する 59 注文した食事が運ばれてから 60  
食べ終わってから 60 勘定&チップ 61 おごり、ディナーの招待 62  
割り勘 62

【誕生日パーティ】

子どもに誕生日パーティについて尋ねる 63  
大人の誕生日パーティに招かれる 64  
招待を断るとき 65

**Part 8 祝日と冠婚葬祭 Ceremonial occasions** .....66

「イースター」について 66

「クリスマス」について 67

【冠婚葬祭】

● 出産祝い 67

- 1) 喜びを伝える 67
- 2) 赤ちゃんを褒める 68

● 結婚 & 離婚 69

- 1) 結婚する人へのはなむけの言葉 69
- 2) 別居 & 離婚 70
- 3) 死去 & 葬儀 70
- 4) 記念日 71

**Chapter 2 カード、Eメール、手紙で気持ちを伝える**

**Dos and Don'ts** .....74

**Part 1 カードの書き方 Let's send cards.** .....76

封筒の書き方 77

1) 感謝のカード 78

- a) プレゼントに対して 78
- b) パーティなどに招かれたことに対して 79
- d) ホストファミリーでお世話になったことに対して 80
- e) 出先で事故に合い、面倒をみてもらった場合 80

2) バースデー・カード 81

3) 遅ればせながらの誕生日祝いカード 82

- 4) グッドラック・カード 83
- 5) 気遣い, 思いやり, 励ましのカード 85
- 6) 各種のお祝いカード 86
  - a) 出産祝いカードとその返礼 86
  - b) 結婚祝いカードとその返礼 87
  - c) 卒業祝いカード 88
  - d) 就職, 昇進, 起業, 定年退職祝いカード 89
- 7) 大旅行する人へのカード 91
- 8) 引っ越し祝いカード 92
- 9) お見舞いカード 93
- 10) バレンタインデー・カード 94
- 11) クリスマス・カード 95
- 12) お悔やみのカード 96
- 13) 転居通知カード 97
  - a) ごく簡単で事務的な通知《多数の人に宛てた場合》 97
  - b) もう少しフレンドリーな転居通知 97
- 14) パーティの招待状 98
  - a) 子どもの誕生日パーティの招待状 98
  - b) カジュアルなパーティ 98
- 15) フォーマルな結婚式の招待状とその返事 99
  - a) フォーマルな招待状 99
  - b) フォーマルな招待状快諾の返事 99
  - c) フォーマルな招待状お断りの返事 100


覚えておくと便利な手紙フレーズ.....101

**Part 2 簡単なEメール書き方 Let's send E-mails.....104**

- 1) 帰宅を知らせる 104
- 2) 小包が届いたことを知らせる 105
- 3) ホテルの予約 106
- 4) 品物の返却について 107

**Part 3 簡単な手紙の書き方 Let's send letters.....108**

- 1) 購入した商品の問い合わせ 108
- 2) 子どもが通っている学校に関して 110
  - a) 子どもが学校を欠席したとき 110
  - b) 子どもを早退させたいとき 111
  - c) 子どもの体育の授業を欠席させたいとき 112
  - d) 教師との面談を希望する 113

- 
- 3) お悔やみ 114
    - a) 恩師の死を悼む 114
    - b) その返礼 115
  - 4) 苦情の手紙 116
  - 5) 仕事に関して 117
    - a) 求職応募 117
    - b) 推薦書 (reference) を書く 118
    - c) 退職願いを出す 119
- そのほかの一般的事項に関して 120

【装丁】 神田 昇和

【本文写真】 津野 志摩子

【吹き込み】 Nadia McKechnie  
Steven Ashton  
Emma Howard  
Marcus Pittman

★ CD には、Chapter 1 の例文（英語）のみが1回、自然な速さで収録されています。  
また、対話例で A\*: や B\*: の “\*” マークが付いているところは女性パートを、付いていないところは男性パートを表しています。

# Chapter 1

## 気くばりの英語表現 (Manners & Etiquette)

### Dos and Don'ts (していいこと、いけないこと)

“When in Rome, do as the Romans do.” (郷に入りては郷に従え)

国によって習慣や風習が違いますので、日本ではなんでもない仕草がとても失礼にあたる場合があります。つまり、この諺のとおり、「郷に入りては郷に従った」ほうが無難です。特によい点は多いに取り入れたいものです。

### Dos (しましょう)

- 1) Thank you, Please を必ず言うようにする。
- 2) Hello の後に必ずご機嫌伺いのあいさつを。
- 3) 目を見て話す。
- 4) にっこりとほほ笑む。(知らない人同士でも、道ですれ違ったときなど)
- 5) よく褒める。(おおげさなほどの形容詞を使って)
- 6) 相手の名前をすぐ覚え、会話のはしばしに名前を入れて話を進める。
- 7) 誰かに会ったとき、友だちなどの連れがいる場合は、すぐその人に紹介する。(立ち話のときでも)
- 8) ささいなことでも自分の意見を述べる。
- 9) 感謝の気持ちを表したいときは Thank you カードを書く。またお花やチョコレートも添えてもいい。こまめにすぐ、感謝のメールを送ったり、サンキュー・カードを書くようにする。(ビジネスでランチなどの会食に招待された際も、その後すぐに感謝のメールを送る)
- 10) 各種のグリーティング・カードを使いこなす。(引っ越し祝いカード、お見舞いカード、グットラック・カードなど)
- 11) プレゼントに関しては、当日に開くクリスマスや誕生日のもの以外は、もらったときに、その場で開いて喜びを表す。
- 12) 友だちの車に乗ることを勧められた場合は、必ず誰か助手席に乗るようにする。(助手席は特等席なので、座らないのは失礼)
- 13) くしゃみをしたときに “Bless you!” (神様が祝福しています!) と言われたら、 “Thank you.” と言う。(逆の場合も同様)
- 14) 人ごみの中で肩がふれあったり、ぶつかったりしたときは Sorry. と言いましょう。

## Don'ts (してはいけません)

---

- 1) テレ笑いをしない。(わからないときや聞き取れないときは、そのつど問い返す)  
“Pardon?”, “Pardon me.”, “I beg your pardon.” と言って、繰り返して言ってくれるよう要請する。言った意味がよくわからないときは “What do you mean?” (どういう意味ですか) と聞く。
- 2) 家のドアの開け閉めなどを静かにする。
- 3) 車のドアの開け閉めも静かに。
- 4) 理由なくして、プレゼントをやたらにあげない。
- 5) 紅茶などを飲むときは、すする音をたてない。
- 6) 食べ物が口に入ったまま、おしゃべりをしてはいけない。
- 7) 食卓で食事をするときは背筋をまっすぐ伸ばす。食べ物に覆いかぶるように食べない。
- 8) 人差し指と中指で示す V サインは親指が真ん中に入ると (セックスを表す) 無礼なサインになるので、注意しよう。
- 9) 変な謙遜は禁物。褒められたら、もじもじしない。(堂々と “Thank you.” と言う)
- 10) 遠慮は禁物。友だちの家を訪問してお茶を勧められた場合なども、遠慮してはいけない。





## ▶ Part 1

# 魔法の言葉

*Two Magic Words — Thank you & Please*

イギリスの一般的な家庭では、小さいときから **thank you** と **please** という言葉を自然にすぐ言えるように厳しく躾けられます。なにしろ、このふたつの言葉は“**magic words**”「マジック・ワード（魔法の言葉）」ともいわれ、それを唱えると望みが叶うのですから。といっても、簡単なお願いですが…。

例えば、こんな会話が家庭内ではよく聞かれます。

CD

2

**A:** Can I have a glass of water?

**B:** Oh, you forgot the magic word, didn't you? What do you say?

**A:** Can I have a glass of water, PLEASE?

**B:** What a good boy! Here you are.

**A:** Thank you, mummy.

**B:** You are welcome, my sweetheart.

**A:** お水を1杯ください。

**B:** あら、魔法の言葉、忘れたんじゃない？ なんて言うのかしら？

**A:** お水、お願いします。

**B:** そうよ。いい子ね。はい、どうぞ。

**A:** ママ、ありがとう。

**B:** どういたしまして。かわいこちゃん。

この“**magic words**”を言えるようになるのが、マナーを心得た英会話の第一歩です。どんな美しい発音を身につけ、どんなむずかしい構文を覚えても、このふたつの言葉を自然に言えるようにならない限り、英語を習得したとは言えないでしょう。この相手への思いやりの言葉があわただしい現代社会においても、心と心を結ぶ大きな要になります。

☆☆☆

**Thank you.****ありがとう。**

次のような場合、あなたははっきりと thank you と言っていますか。それぞれ英語がペラペラの人でも、この言葉を言っていない人が意外に多いのです。お店で買い物をして、おつりをもらう際、自分のお金をもらうのになぜ thank you と言わなくてはいけないのだろう、と不思議に思う人もいるかもしれませんが、それは人の手をわずらわせたことに対して感謝の気持ちを表しているのです。日本語で「どうも」と軽く言っているところに thank you を置き換えてみましょう。日本人は thank you よりも sorry を連発する人が多いと言われていますが、何もいつも頭を低くして、謝る必要はありません。頭を高々とあげ、相手の目をしっかりと見て、thank you と言いましょう。この際、ニコニコして言うと、もっといいかもしれません。

また、変な遠慮は禁物です。友だちの家を訪ねた際、お茶を勧められた場合なども、はっきりと自分の意思を表しましょう。（日本のように、どこかを訪問した際、お茶が自動的に出てくることはありません。常に相手の意思を尊重しますので、必ず「飲みたいかどうか」を尋ねられます）

それから、是非覚えておかななくてはいけないエチケット & マナーのひとつに、ドアの開け閉めがあります。現在でもイギリスでは公共の場所、例えばデパート、劇場、公民館、学校など、自動ドアになっていないところが結構あるからです。その際、先にドアを開けた人は後ろに誰がいるかどうかを確かめた上で、ドアを開けておいて待っていてくれたりしますので、「ありがとう」の言葉をお忘れなく。自分でドアを開いたときも、後ろに誰かがいるかどうかを確かめ、目の前でピシャリとドアを閉めたりしないようにしましょう。

**At the door** (ドアの所で)

A: After you.

お先にどうぞ。

B\*: **Thank you.**

ありがとうございます。

**At the supermarket** (スーパーマーケットで)

A\*: Here is your change.

(手渡ししながら) おつりです、どうぞ。

B: **Thank you.**

どうもありがとう。

**Note:** Thank you. の代わりに **Thanks.** もよく使われる。このほうがよりカジュアル。また、もっとくだけた言い方で **"Ta."** [tá:] も使われることがある。

### At the café (喫茶店で)

A\*: One coffee?

コーヒーひとつですか。

B: Yes, please. **Thank you.**

はい、そうです。どうもありがとうございます。

### At a friend's house (友だちの家で)

A\*: Would you like milk and sugar?

ミルクとお砂糖は入れますか。

B: Yes, one sugar, please. **Thank you.**

はい、お砂糖をひとつお願いします。ありがとうございます。

### At the table (食卓で)

A\*: Could you pass me the salt, please?

お塩をこちらに渡していただけますか。

B: Here you are.

はい、どうぞ。

A\*: **Thank you.**

ありがとうございます。

### At a friend's house (友だちの家で)

A\*: Would you like to have a cup of tea?

お茶、いかがですか。

B: That would be wonderful. **Thank you.**

ああ、いいですねえ。ありがとうございます。

### Asking the time (時間を尋ねる)

A: Have you got the time?

何時ですか。

B\*: It's half past two, now.

2時半ですよ。

A: **Thank you.**

ありがとう。

### Leaving a friend's house (友だちの家を去るとき)

A\*: **Thank you very much for having me.**

お邪魔しました。

B: My pleasure, Bella. You are always welcome.

どういたしまして、ベラ。あなたはいつでも大歓迎ですよ。

**Note:** この“having me”という言い方はよく子どもが招かれたときなど、帰り際に言って行きますが、大人も場合によって使うことができます。特に友だちの家に宿泊してお世話になった場合などの帰り際に、**Thank you very much for having us.** などと言うのもいいでしょう。

☆☆☆

## Please.

## 願ひします。

この言葉を直訳すると「どうか願ひします」となるでしょう。使い方によって、本人の強い意志を表したり、他人への思いやりを表すことのできる「とてもいい言葉」です。店での買い物、レストラン、パブなどでの注文、売店でチケットの購入の際なども、“please” を忘れないことが英会話の基本マナーです。

また、チケットなどを購入の際、売り手が確認の質問をしたときも、相手に思いやりを示す “Yes, please.” をお忘れなく。「親しい仲にも礼儀あり」という格言がありますが、家庭内でも please を忘れずに。

## At the shop (店で)

A: Could I have these apples, **please**?

このリンゴをいただけますか。

B\*: Certainly. How many would you like to have?

かしこまりました。どのくらい、差し上げましょうか。

**Note:** 現在、Certainly の代わりにアメリカ人のように Sure という人も多くなってきている。

## At the cinema (映画館で)

A: Can I have one adult ticket, two students and one child ticket, **please**?

大人1枚、学生2枚、子ども1枚、いただけますか。

B\*: £25 all together, **please**.

全部で25ポンド願ひします。

**Note:** 入場料金などに関しては、子どもはもちろんのこと、学生、シニア、低所得家庭、無職の人などの割引 (concession) があるので、それぞれ料金が違ってくる。



**津野 志摩子** (つの・しまこ)

英国プリマス大学大学院美術史修士課程修了。現在、イギリス南西部のデボン州に在住。文筆、写真撮影、旅行、展覧会のコーディネーター、留学のお手伝いなど、多岐にわたった仕事を1985年の渡英以来続けている。

趣味は、テニス、バドミントン、ヨガ、エアロビクス、散策、健康食作り、ガーデニング、アート&クラフト、ギター、タンゴなど。

著書に、『たのしい英語ゲーム』（日本YMCA同盟出版部）、『アガサ・クリスティーと訪ねる南西イギリス』（PHP研究所）、『英国貴族に出会う旅』（東京書籍）、『イギリス暮らしの英語表現』（ベレ出版）、『イギリス英語ロンドン12か月』（語研）などがある。

© Shimako Tsuno, 2009, Printed in Japan

**体験的イギリス英語ルール101**  
【英国式気くばりのすすめ】

2009年11月10日 初版第1刷発行

著者 津野 志摩子  
制作 ツディブックス株式会社  
発行者 田中 稔  
発行所 株式会社 語研  
〒101-0064  
東京都千代田区猿樂町 2-7-17  
電話 03-3291-3986  
ファクス 03-3291-6749  
振替口座 00140-9-66728  
組版 ツディブックス株式会社  
印刷・製本 倉敷印刷株式会社

**ISBN978-4-87615-200-1 C0082**

書名 タイケンテキ イギリスエイゴルール ワンオーワン  
著者 ツノ シマコ  
著者および発行者の許可なく転載・複製することを禁じます。

定価はカバーに表示してあります。  
乱丁本、落丁本はお取り替えいたします。

株式会社語研 

語研ホームページ <http://www.goken-net.co.jp/>

**【付属 CD について】**

Chapter 1 の例文（英語）のみ自然な速さで収録。

収録時間：25分34秒